

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-1号)

平成28年6月9日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

## はじめに

今年度も6月から10月まで、伊勢・三河湾の貧酸素水塊の発達状況について、現況と予測の情報を提供します。

データは、三重県水産研究所が「あさま」で実施する浅海定線調査、愛知県水産試験場が「海幸丸」、「へいわ」で実施する環境調査等の結果を利用し、月2、3回程度情報提供する予定です。

情報は、迅速性が求められるため、調査後速やかに提供することとしております。このため、データは速報値であり、後日、補正等で修正される場合もありますので、ご承知おきください。

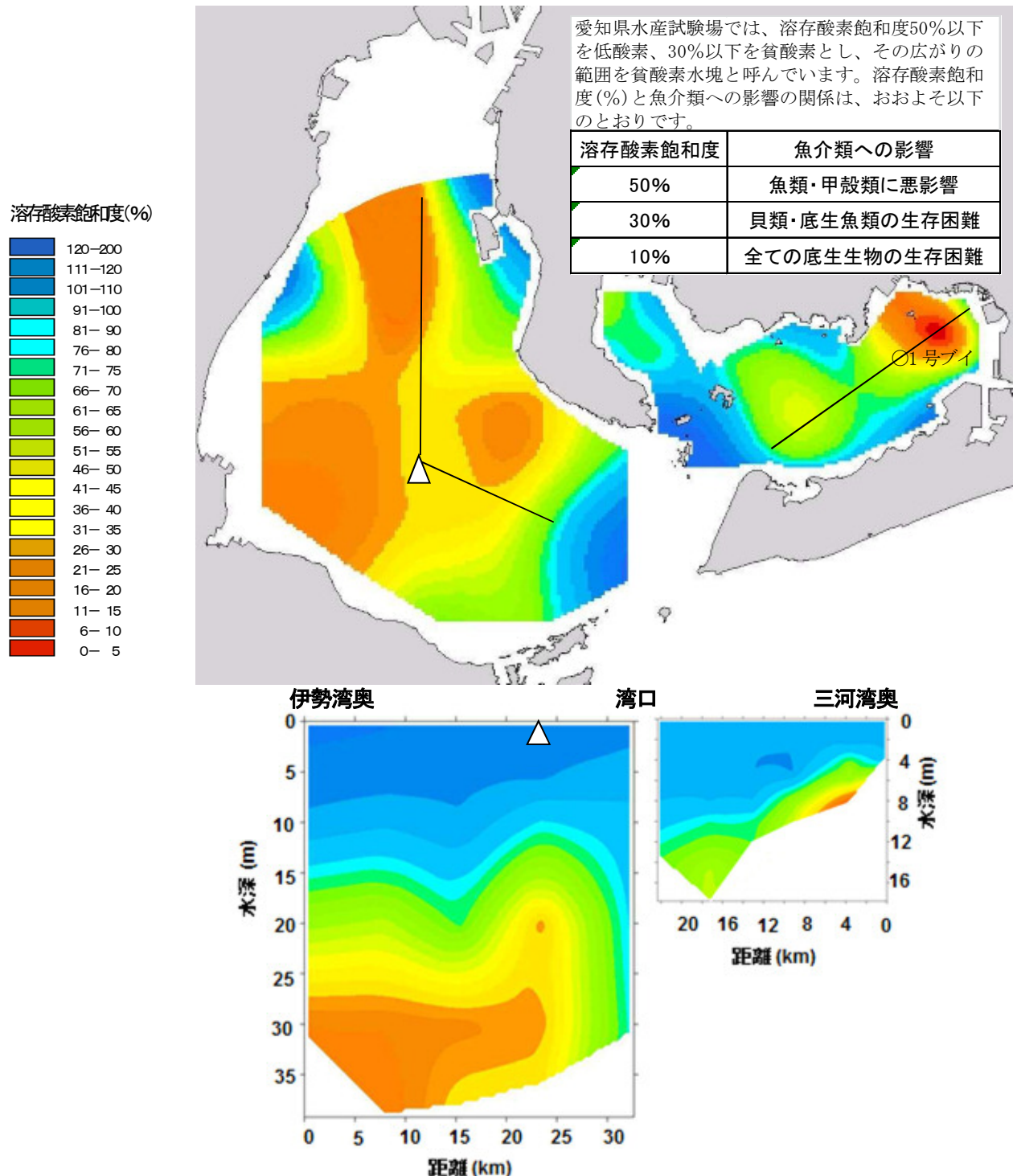


図1 伊勢湾 (6月6,7日)・三河湾 (6月1,3日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (三重県「あさま」、愛知県「へいわ」調査)

## 伊勢湾

6月6,7日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾では湾中央部などで溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が確認されました。また、底層には外海水の流入がみられ、貧酸素水塊の一部が持ち上げられている状況でした。

今後は、表層の水温上昇と低塩分化により成層化が進み、徐々に貧酸素化が進行すると思われます。

	水温(°C)		塩分	
表層	19.9	~ 21.5	28.5	~ 31.6
底層	15.2	~ 21.0	30.4	~ 33.3

## 三河湾

6月1,3日の調査結果を図1に示しました。三河湾では湾奥部で貧酸素水塊が確認されました。

5月27日と6月1~2日に北北西~西北西の風が強く吹き、湾奥部の一部の海域では、底層の貧酸素水塊が岸よりへ移動し苦潮が発生しました。自動観測ブイ(1号)のデータを見ると、6月1日から海水の上下混合が始まり、6月2日には一時的に貧酸素水塊は解消しましたが、その後徐々に底層の溶存酸素飽和度が低下しています。(図2)。

今後は、表層の水温上昇と低塩分化により成層化が進み、徐々に貧酸素化が進行すると思われます。

	水温(°C)		塩分	
表層	19.7	~ 22.3	29.4	~ 32.0
底層	18.5	~ 21.7	29.8	~ 33.2

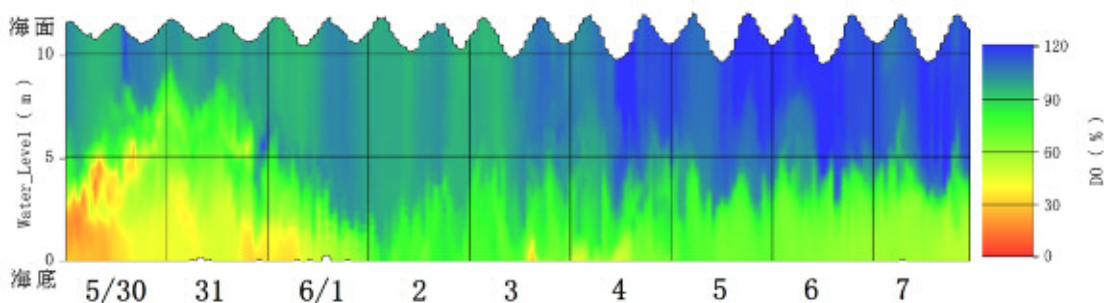


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (自動観測ブイ1号)

## 参考

前年同期の両湾底層の溶存酸素状況

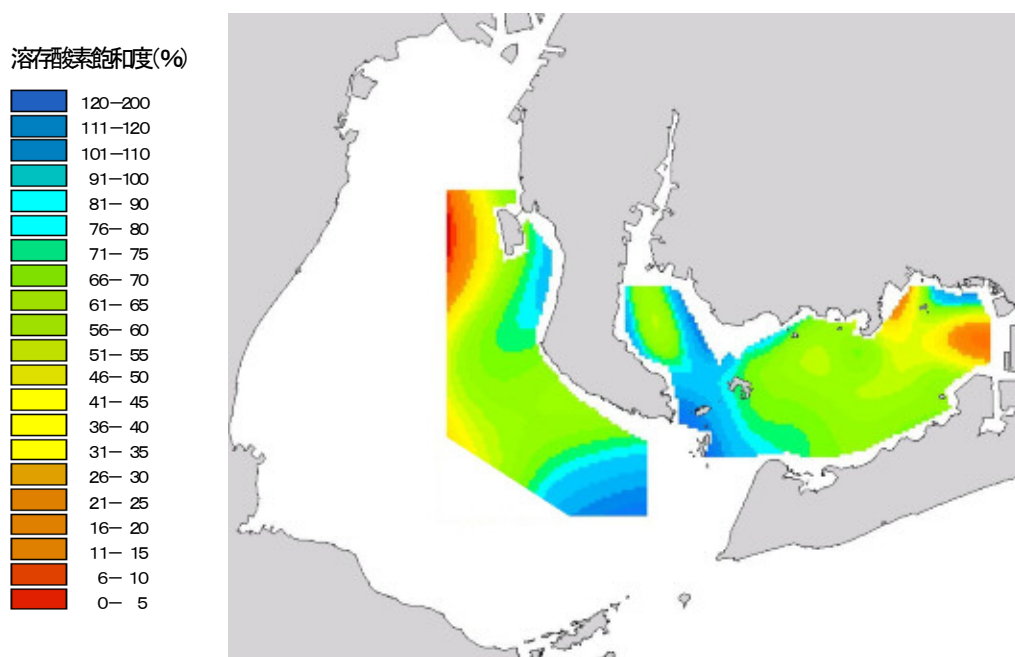


図3 平成27年6月1日(伊勢湾)、6月2,3日(三河湾)